

2024年度大学入学共通テスト出願者数速報値

河合塾

2023/10/06

2024年度大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の出願は10月5日が最終日であった。大学入試センターから発表された出願締切最終日17時現在の出願総数は465,469人となった。前年同日時点と比較すると13,879人減少（前年同日比97%）した。

志願者は現卒ともに減少見込み

現役生志願者数の減少率は18歳人口減と同率にとどまる

出願者の内訳をみると、高等学校等卒業見込者（現役生）が403,718人（前年同日比97%）と前年から11,995人減少した＜図表1＞。来春の18歳人口はおよそ106.3万人で、今春から約3.4万人減少する（前年比97%）。最終日時点の共通テスト現役出願者の減少率はこれと同率であり、確定数も同様の傾向なら、現役志願率（共通テスト現役出願者数／高等学校等新規卒業生数）も前年並みの45%前後になると見込まれる。

既卒生の減少率は過去3年に比べ緩やかに

高等学校等卒業生等（既卒生等）の出願者は前年から1,884人減少して61,751人となった。前年同日比で97%と、過去3年の最終日同日比の推移（21→22→23年度：82→92→93%）と比べ、減少率が抑えられた形だ。

近年、少子化による大学入試の競争緩和が急速に進んだ結果、既卒生の大学志願者も減少してきた。共通テストの出願者数はまだ確定ではないが、このまま推移すれば過去3年に比べ既卒生の減少は緩やかになる見通しだ。

今夏、日本私立学校振興・共済事業団が公表した2023年度の私立大学全体の入学定員充足率は100%を割り込んだ。また、定員割れの大学は53%と初めて半数を超えた。このような環境で既卒生の減少率が緩やかになってきたことは、浪人してでも志望大学を変えない受験生が一定の割合で存在することを示す。

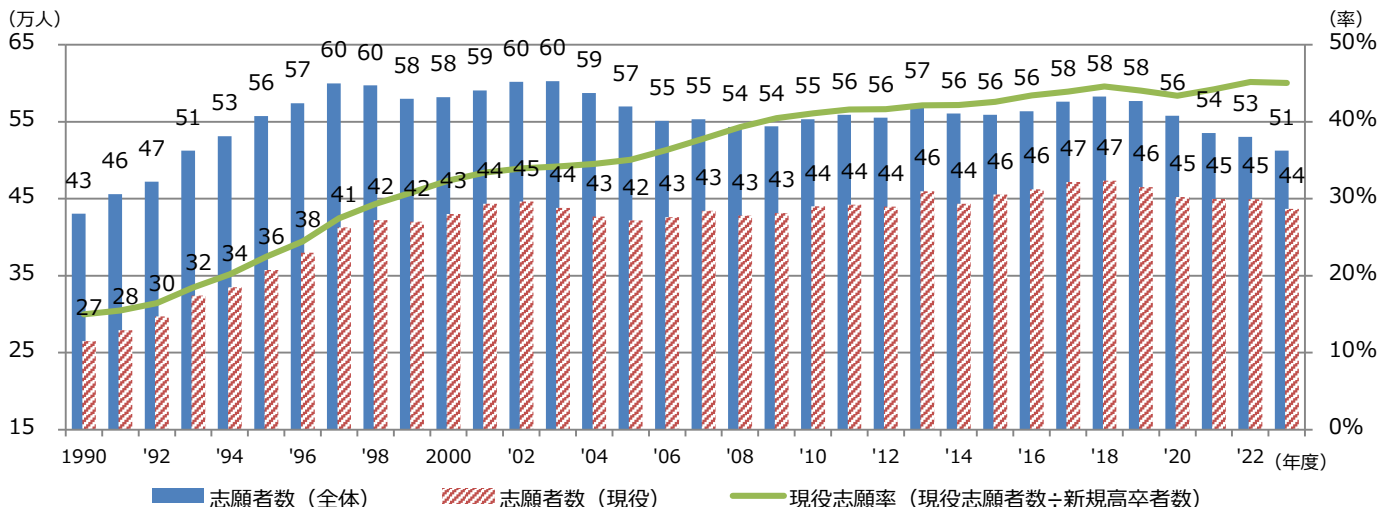
共通テストの確定志願者数は12月上旬に発表される予定である。出願最終日の消印のあるものまで受理されるため、例年、確定志願者数は最終日時点から2～4万人ほど増加する。河合塾では確定志願者数が出た段階で、さらなる分析をする予定だ。

＜図表1＞ 2024年度共通テストの出願状況（2023年10月5日17時現在）

	2024年度 (出願最終日 17時現在) ①	2023年度 (出願最終日 17時現在) ②	① - ②	2023年度 (最終発表値)
出願総数	465,469 人	479,348 人	-13,879 人	512,581 人
内訳				
高等学校等卒業見込者 (高等学校等経由出願)	403,718 人	415,713 人	-11,995 人	436,873 人
高等学校等卒業生等 (個人直接出願)	61,751 人	63,635 人	-1,884 人	75,708 人

※大学入試センター発表資料より ※出願は受付最終日の消印のあるものまで受け付ける
※重複出願等の確認後、確定志願者数が発表される予定

（参考）大学入試センター試験・大学入学共通テスト志願者数推移



※大学入試センター試験資料より
※2020年度以前は大学入試センター試験の志願者数
※現役志願率：共通テスト（センター試験）現役出願者数／高等学校等新規卒業生数